

(2) 福智町地域公共交通会議結果

各会議の結果を示す。

① 第1回福智町地域公共交通会議

日時	令和5年6月29日(木) 10:00～:11:00
場所	福智町役場 3階会議室
参加者	<出席者> 委員:22名 (会長)福智町 副町長:竹下 靖/(副会長)福智町商工会 会長:池田 昇/西鉄バス筑豊株式会社 田川支社 支社長:青木 明生/田川構内自動車株式会社 総務部長:長井 智章/有限会社プラス観光 代表取締役:石山 吏生/平成筑豊鉄道株式会社 運輸事業部長:石松 祥宏/福智町老人会 会長:松尾 重義/福智町 PTA 連合会 会長:福嶋 申行/九州運輸局福岡運輸支局 支局長:傳 勝博(代理:井料 達己)/(オブザーバー)九州運輸局福岡運輸支局 首席運輸企画専門官 課長:辻 美喜善/一般社団法人福岡バス協会 専務理事:中川原 達也/福岡県筑豊地区タクシー協会 会長:嘉久 礼子/西鉄グループバス労働組合 書記長:熊本 正志/福岡県田川県土整備事務所用地課 管理係長:磯田 靖彦/福岡県田川警察署交通課 交通総務係長:田中 一実/福智町社会福祉協議会 事務局長:中野 雅浩/福智町 総務課長:長野 士郎/福智町 高齢者障がい福祉課長:八代 賢一(代理:瀬川 政一郎)/福智町 健康子育て支援課長:小松 卓美/福智町立図書館ふくちのち 館長:井上 憲治/福岡県企画・地域振興部交通政策課 交通総務係長:田辺 好徳/上野焼協同組合 理事長:高覇 享一 事務局:4名 まちづくり総合政策課 課長:木村 貴代美/まちづくり総合政策課 課長補佐:犬丸且久/まちづくり総合政策課 係長:並川 昌太郎/まちづくり総合政策課 主査:日永 田 憲章 計画策定支援事業者(千代田 C):2名 川崎 謙次、成田 光裕 <欠席者> 福岡県立大学 助教授:美谷 薫 (敬称略)
次第	1. 開会 2. 議題 (1)令和4年度事業報告及び決算報告 令和5年度事業計画(案)及び予算(案) (2)実証運行利用状況の報告 (3)令和5年度事業概要 (4)自家用有償旅客運送登録 (5)地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請 3. その他
配布資料	資料-1 令和4年度事業報告、令和5年度事業計画案 資料-2 「ふく～るバス」実証運行報告 資料-3 令和5年度事業概要 資料-3補足資料 自家用有償旅客運送の登録申請(案) 地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請(案)
会議の様子	

<1. 開会>

【事務局説明】

会長(竹内副町長):本日は副会長に会議の進行を一任する。委員の皆様には福智町の現状を理解のうえ審議頂けるよう、よろしくお願い申し上げます。

<2. 議題>

(1)令和4年度事業報告及び決算報告

【事務局説明】

●承認

(2)実証運行利用状況の報告

【事務局説明】

(3)令和5年度事業概要 及び(1)令和5年度事業計画(案)及び予算(案)

【事務局説明】

県バス協議会(中川原氏):①社会福祉協議会の運転者で 1 種免許のみを所有している人は2種免許講習を受ける予定であると言っていたが、実際の運行にあたっては速やかに受講するべきではないか。

②自家用有償旅客運送ではアルコールチェックも必要になる。現在は行っているのか、今後取り入れる予定があるのか。

事務局:①免許講習について、事業を承認頂いた後に実施するといった意味合いを兼ねて予定としていたが、計画としては7月から8月にかけて受講できるよう準備を進めているところである。

社会福祉協議会(中野氏):②アルコールチェックについては今年4月から実行している。今後も継続していく予定である。

運輸支局(井料氏):①バスやタクシーの事業者は高齢化に伴い、健康管理に関する事項は多くなっている。社会福祉協議会の運転手においても高齢化はあると思うため、持病等確認したうえで毎朝の健康チェックを実施しつつ運行対応をしてほしい。

②今後の予定で自家用有償旅客運送登録申請が6月になっているが、運賃が定まらないと申請ができないため、次回交通会議を開催する予定である8月以降に登録の申請が必要になる。

事務局:①運転手の体調管理は、社会福祉協議会と連携し、対応していく。

②自家用有償旅客運送申請については8月の交通会議で承認を得た後に申請を行う。

運輸支局(辻氏):町内移動はタクシーとの共働のうえと記載している。個人的にこの事業はタクシーへの影響が大きいと考えている。タクシーの影響等も調査しながら、利用促進については力強く、長い観点で続けて頂きたい。

事務局:田川構内と協議を図りつつ、その上でより効果的な支援を続けていきたい。

副会長（池田氏）：この事業が進んでいく場合、今後はより密な連携を取っていかなければ、この事業はうまくいかない。本日の決定だけではなく、今後も含めて皆様に協力願いたい。

●承認

（４）自家用有償旅客運送登録

【事務局説明】

（５）地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請

【事務局説明】

<3. その他>

県バス協議会（中川原氏）：①令和５年度の予算の事業費補助金について、福岡県補助の近未来 MaaS、令和４年度の補助金であるデジタル田園都市、この２つの内容は異なるため、令和５年度予算に近未来 MaaS 補助を計上するのであれば、前年度は 0 円と表記するようにした方が良い。

②資料２ P10 について、乗合発生の利用状況とあるが、乗合が悪いことのように受け取れるため、記載方法については気をつけること。乗合の発生という言葉の使用は避けること。

事務局：①予算については次回再編をする際に整理を行う。

②ご指摘頂いた箇所について留意し、資料作成に努める。

運輸支局（井料氏）：①AI オンデマンドはバスとタクシーの中間地点といった位置づけである。AI オンデマンドの利点だけでなく、乗合移動がメインである点、ドアツードアではない点などの注意点についても周知頂きたい。

②令和５年度の事業計画案について、運賃は８月の交通会議で報告頂けると伺っている。ミーティングポイントは９月までに検討と記載してあるが、会議での共有はいつ頃を想定しているのか。

事務局：②ミーティングポイントについて、田川署などと調整は進めている。資料上では、９月までの検討としているが、８月の交通会議でご報告させていただきたい。すべてのミーティングポイントを８月の交通会議でお示しできるかは現時点では未確定である。

副会長（池田氏）：高齢化ではなく高齢社会になり、人手不足という問題もある中で、官民などの相互協力が必要不可欠であると感じている。今後も様々な立場・観点から密な調整、協議を重ねて頂きたい。町民に対して多少ご無理をかけることがあっても、平等であるような状況を作っていきたいと考えている。今後の会議は竹下会長が議長で進行して頂く。

<4. 閉会>